

# 令和6年度 杉並区立向陽中学校 学校経営目標

## 「地域と共に成長する生徒の育成」 「主体的に人との関わりをもち、持続可能な社会の創造」

<キーワード> 「よく考える人」の育成 人との交流と豊かな体験 地域の誇りとなる生徒の育成

### 教育目標

### よく考える人 (重点)

### 思いやりのある人

### たくましい人

#### 学習環境の基盤の構築

安全で衛生的な学習環境を整備し、生徒が安心して学べる環境の構築

- 感染症対策の緩和から、交流や体験を大切にしている教育活動の推進
- 魅力ある向陽中にするために諸課題に対して地域と一緒に取り組む
- 支援体制の充実より「わかる喜び」から「意欲が高まる授業」の展開
- 教職員が生徒に歩み寄り、相談しやすい居心地の良い場の構築

#### 「思いやりのある人(徳)」の推進

互いが認め合い、思いやり・感謝する心を育み「ありがとう」が響く学校

- 他者とのちがいを認め多様な価値観に触れた人権尊重と生命尊重の推進
- 地域全体がしあわせになれるように実践・体験を通じた主体的な取組
- 「いじめ0%五ヶ条」「ひまわりノート」等認め合える活動の実践
- いじめ発生時の事実確認及び管理職への報告と組織対応の徹底
- 地域・保護者・教員の三者で協議し、地域全体で心の充実の伸長
- 人権教育への取組を推進し、誰もがしあわせになれる学校の構築

#### 信頼される学校づくり

開かれた学校として学校の課題を地域・保護者と考えていただくために学校公開の充実

- 「学校運営協議会」「学校支援本部」等と協働し、生徒の育成と地域活性化の推進
- 主体的な活動を促し、地域や社会に参画・貢献できる生徒の育成
- 保護者に学校への関心をもってもらい、支援・協力体制の構築
- 小中三校の教職員や学校運営協議会委員の交流から円滑な小中接続・連携を図り、効果的な学校生活等を促進し、魅力ある向陽中の創造

#### 「よく考える人(知)」の推進(重点)

学び合いメソッドを踏まえ、「主体的・対話的で深い学び」の推進

- 授業のねらいにせまるための問いの研究<第1段階>
- ICTの効果的な活用で、他者の思考からの学び合いの推進<第2段階>
- 他者との思考を共有し、自らの振り返りによる「深い学び」の実現<第3段階>

自ら課題を見出し知識や技能を活用しながら、他者とともに解決する学習場面をつくり、教育活動の展開を工夫し、学習意欲を向上

- 毎時間の授業のねらいと振り返りを大切に、学習効果の適切な把握
- 学習の進め方を生徒自身で調整でき、生徒に合わせた教材等を提供し、学習の充実と習慣化の促進(個別最適な学び)
- 生徒を励まし、自信をもって学校生活を送れるように支援体制の充実

交流や地域資源を活用した体験から、主体的に社会に参画・貢献する意欲の育成

- 地域を社会の一部と見立て、地域・保護者・教職員で協働し、共通理解の深化
- 地域と連携した教育活動と一緒に学び合う機会とし、教員による地域研究の実践
- 持続可能な開発目標を意識したSDGs活動を推進し、他校との交流の推進

ICTの活用で多角的な思考に接し、主体的で深い学びを育成する授業展開

- 双方向でのICT活用の効果を、教員同士互いに学び合い、活用機会の拡張
- 生徒自身が学習課題を見つけ、学習の進め方を調整できる取組となるように個に応じた授業の推進(個別最適な学び)

#### 「たくましい人(体)」の推進

生活のリズムを保ちながら、自身の健康に留意しながら過ごす

- 教職員と生徒で共通理解し、交流や体験を充実させる教育活動の推進
- 食育指導を通じて、体力の向上を図り、活動的かつ意欲的な学校生活の促進
- 教育相談体制を整備し、不登校生徒・保護者への支援体制の構築
- 部活動運営を学校から地域等へ移行させ、持続可能な部活動運営の構築

#### 教職員間のコミュニケーション力の向上

「報告・連絡・相談・記録」を密にし、コミュニケーション力と組織力の高い集団(チーム向陽)の構築

- 全教職員の英知と創意工夫を結集し、主体的に取り組む生徒の育成
- 全教職員が率先して生徒の模範となる行動・教育活動の実践
- 支援が必要な生徒に対して、情報共有を図り協議し、支援体制の向上さらに、学びの教室との連携を強化し、教職員の特別支援教育の充実
- 緊急事態等の対応を周知、徹底させ、校内体制を充実させた組織力の向上
- 企画委員会に情報を集中させ、効率よい継続的な校務の実施
- 特別委員会を活性化させ、組織対応で課題解決を迅速に図る体制の確立
- 主任・主幹教諭と若手教諭の協働により、新旧の技能を融合させながら組織の中で学び合い、支え合って、技能を補える教員集団の創造



沿革〈平成29年度に開校70周年を迎えました〉

元号	年	月	日	沿革	元号	年	月	日	沿革
昭和	22	4	1	杉並区立下高等学校設立	平成	12	8	28	教職員・生徒・韓国・方背中学校親善訪問
				鎌田要之助初代校長着任					8.31
	24	4	18	現在地に新校舎落成		11.16	杉並区研究奨励校研究発表会		
				校歌制定		12.22	韓国・方背中学校訪問団来校		
	25	9	28	校歌制定		13	4	1	夜間機械警備開始
				小沢政江第二代校長着任					8.27
	31	3	26	早川田能美第三代校長着任		14	1	28	韓国・方背中学校訪問団来校
				校名を向陽中学校と変更する					15
	32	10	2	開校10周年記念式典挙行		17	4	6	地域運営学校指定を受ける
				4.1					校名を向陽中学校と変更する
	36	4	1	水沢一雄第四代校長着任		19	10	20	開校60周年記念式典挙行
3.16				体育館落成	20				3
40	3	30	鉄筋4階7教室落成	21	9	16	電子黒板設置		
			4.1				松本秀麿五代校長着任	11.27	金融教育研究校として発表
42	4	1	鉄筋4階4教室落成	22	8	25	校庭緑地化施工完了		
			4.1				鉄筋4階5教室、校長室、職員室、事務室、放送室落成	23	11
47	2	28	鉄筋4階6教室他落成	24	4	1	眞淵高史第十六代校長着任		
			4.1				勝間田利作第六代校長着任	25	4
49	3	31	鉄筋4階8教室落成	25	25	27	平成25-27年度部活動活性化事業		
			4.1				荒木敦第七代校長着任		(硬式テニス部、バスケットボール部)
50	3	31	鉄筋4階8教室落成	54	3	31	学校開放施設・クラブハウス落成		
			4.1				里川雅司第八代校長着任	58	3
54	4	1	堀内明子第九代校長着任	61	4	1	高橋光安第十代校長着任		
			4.1				高橋光安第十代校長着任	62	11
58	3	25	体育館ステージ完成	平成	3	3	3.31		
			4.1				堀内明子第九代校長着任	4.1	吉田和彦第十一代校長着任
61	4	1	高橋光安第十代校長着任	6	4	1	小池國雄第十二代校長着任		
			11.2				開校40周年記念式典挙行	7	10
62	11	2	開校40周年記念式典挙行	9	6	21	開校50周年記念式典挙行		
			4.1				吉田和彦第十一代校長着任	6.26	韓国教員訪日研修団来校
平成	3	3	3.31	コンピュータ室完成	10	8	26	校長・教職員・生徒・韓国・方背中学校親善訪問	
			4.1	吉田和彦第十一代校長着任				11	4
6	4	1	小池國雄第十二代校長着任	10	8	26	校長・教職員・生徒・韓国・方背中学校親善訪問		
			7				10	2	韓国・方背中学校長・教諭来校
9	6	21	開校50周年記念式典挙行	11	9	11	9	平成29・30年度 区教委教育課題研究指定校	
			6.26					韓国教員訪日研修団来校	
10	8	26	校長・教職員・生徒・韓国・方背中学校親善訪問	30	11	9	平成29・30年度 区教委教育課題研究指定校		
			4.1				中村馨第十三代校長着任	2	4
11	4	1	中村馨第十三代校長着任	4	4	1	齋藤耕一郎第十九代校長着任		
			12.23				韓国・方背中学校訪問団来校	5	10
令和	2	4	1	中谷愛第十八代校長着任	6	3	10	だれでもトイレ完成	
				7.13				体育館エアコン設置工事完了	
4	4	1	齋藤耕一郎第十九代校長着任						
			5	10	10	体育館スロープ完成			
6	3	10	だれでもトイレ完成						

主な学校行事

※( )内の数字は学年



運動会



フレンドシップスクール



スキー移動教室



修学旅行

**3月**  
 区意識実態調査(3)、保護者会、上級学校説明会(2)、卒業式、普通救命講習(2)、修了式

**2月**  
 理科出前授業(1)、スキー移動教室(2)、区意識実態調査(1)、新入生保護者説明会、区意識実態調査(2)、定期考査④

**1月**  
 始業式、小中合同研修会、校外学習(1)

**12月**  
 三者面談、中学生対抗駅伝大会、終業式

**11月**  
 生徒総会、区意識実態調査(3)、定期考査③、区意識実態調査(1)、校外学習(2)

**4月**  
 始業式、入学式、生徒会オリエンテーション、身体計測、国学力調査(3)、保護者会、離任式

**5月**  
 部活動保護者会、生徒総会、引き渡し訓練、フレンドシップスクール(1)

**6月**  
 運動会、進路説明会(3)、理科出前教室(2)、小中合同研修会(年3回実施)、セーフティー教室(SNS)、定期考査①、音楽鑑賞教室(2)、修学旅行(3)

**7月**  
 職場体験(2)、保護者会(3)、終業式、パワーアップ教室、三者面談

**8月**  
 夏休み

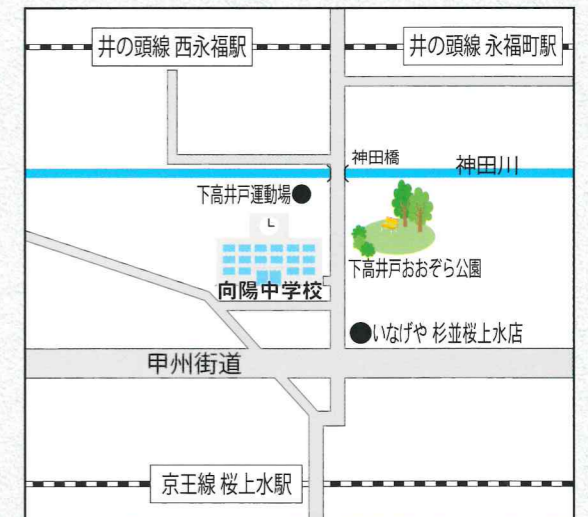
**9月**  
 始業式、向陽中体験プログラム、小中合同研修会、道徳授業地区公開講座、生徒会役員選挙、定期考査②

教室配置図



学校概要

(令和6年5月1日現在)  
 (設置) 昭和22年4月1日  
 (学級数) 9学級  
 (1年生3学級/2年生3学級/3年生3学級)  
 (生徒数) 301名(男子180名/女子121名)  
 (校長) 齋藤耕一郎(令和4年4月1日着任)  
 (教職員数) 41名  
 (交通機関) 京王線 桜上水駅下車 徒歩10分  
 井の頭線 西永福駅下車 徒歩13分



施設概要

(校地面積) 16,851㎡ (校舎) 6,009㎡  
 (運動場) 10,842㎡ (体育館) 891㎡  
 (プール) 25m×5コース (テニスコート) 3面(クレーコート)